



みんなの力でみんなの幸せを

s a w a r a b i

さわらび

2 **医学講話** 物まね神経細胞 記憶と物忘れ
◆福祉村病院 院長 小橋 修

8 **特集** 第66回全国老人福祉施設大会〈千葉大会〉

2010
vol.443

3





医学講話

物まね神経細胞 記憶と物忘れ

福祉村病院 院長

小橋 修

物まね神経細胞

(ミラーニューロン)の発見

赤ちゃんは生まれて二、三日で母

親のうれしい顔と悲しい顔を見分
け、二、三ヶ月のうちには母親の表

情や声をマネ、母親がアーンと口を

あければ赤ちゃんは自然と口を開け、

母親と感情を一致させる能力を発達

させる。母親は自分の動きを、子供

の喜怒哀楽に敏感に同調させる。生

後九ヶ月の幼児は喜びと悲しみの表

情をそっくり再現し、共感する感情

を発達させる。私たちは「ああ、こ

の人は悲しいのだな」とか「なんだ

か、怒っているみたい」というのは、

相手の表情やしぐさ、声の調子から

わかり、人が泣いていると、思わず

もらい泣きをする。テレビでも、実

際の現場でも、本で読んでも、自分

が体験しているかのように共感でき

る。この共感を可能にしているのが、

ミラーニューロン(物まね神経細胞)

である。

フラッシュバックとサバン症候群

人は一度見たものは二度と忘れな

いという記憶の多くは、感情と密接

に関連した記憶である。何かのきつ

かけで突然思い出されるフラッシュ

バックや外傷後ストレス症候群もそ

の一つである。ありありと思い出さ

れるといっても細部まで記憶してい

るわけではない。ところが、サバン

症候群の人たちは、写真記憶といっ

てほんの一瞬見ただけで、写真と同

じように細部まで記憶し、絵に描い

たり、聞いただけで、録音テープの

ように正確に一音も間違えることな
く、一年後でも音楽を再生できる。

ただし、一つとして変える事が出来

ない融通の悪さが欠点である。すば

らしい記憶力を示すサバン症候群の

人たちは、日常生活の諸動作や常識

的なことは全く記憶できない。普通

の社会生活ができるように訓練する

と、瞬く間にかねらの能力は消えて

しまう。なんとも不思議な記憶力で

ある。多くの天才といわれる人たち

にも多かれ少なかれ認められるとい

う。

物忘れと周辺症状

赤ん坊が泣くと、母親は共感して

一緒に泣くだけでなく、赤ちゃんを

あやしたりお乳を飲ませたり、オム

ツを替えたりと適切に判断し行動で

きるように、脳の各部位がちゃんと

有機的に働いている。記憶を専門に

つかさどる神経細胞が崩壊してゆく

と、「ほらあれ」と、なぜか「あれ」

と固有名詞が思い出せなくなる。

更に物忘れが進むと、5分もしない

うち、今食事をしたのに食事はまだ

かまだかというようになる。中には

食べられないものまで何でも口に入

れてしまう。人に注意されて思いだ

せるうちはいいが、鍵や財布など大

事なものを盗まれたとあって、一番

身近なヒトを責める。気に入らない

と暴れたり大声を出したりと抑制が

効かなくなる。認知症の人のこのよ

うな多彩な周辺症状は、脳の機能分

担と、神経細胞間の複雑精緻な抑制

経路と、促進経路のネットワークの

機能不全や乱れや脱落などによって

起こるとされている。

記憶の曖昧さ

私たちは、普通、注意していても

見まちがい、聞き間違う。これは記

憶の七つのエラーと呼ばれる、物忘

れ、不注意、思い違いや先人観など

による頭の中での混乱と書き換え、

暗示などのためにしっかりと記憶さ

れなかったためである。絶対に私は

見たんだから、聞いたんだからと主張しあって、相手を不幸に陥れることもある。今、見ているひとが、サルではなく人である、男性ではなく女性である、AさんではなくBさんであるなどと、目の網膜を經由して後頭部の視覚野に達した映像を、それが何だと別の部位の神経細胞が判別している。いやな人、好きな人、おこった顔、笑っている顔、悲しんでいる顔という感情のこもった認識は別の部位が担当している。私たちはカラーでものを見るが、色の認識も別の部位が担当している。数字の記憶も計算が出来るのもそうである。これらの複雑な仕事は、1000億の神経細胞のうちのみならずかな神経細胞が、脳のそれぞれのあるべき部位で担当し、一つ一つの神経細胞は数千、数万の手を出してお互いにつながっている。このネットワークに少しでも混線（クロス配線）があると物忘れではなく、沢山の奇妙なことが起こる。数字の5を赤、3を

黒、2を黄といった具合に、数字が色で認識されるのは、数の認識と色の認識を担当する神経細胞の配線が混乱したため、欧米人では200人に一人いるといわれている。外来患者さんのご家族の中に、お前は誰？と夫に言われた妻が驚くのは、相貌失認といって顔を認識する神経細胞の脱落によるもので、単純な物忘れではない。

ミラーボックス物まね神経細胞 (ミラーニューロン) の有効利用

今まさに首をはねられ、足や手指を切り落とされるシーンを見ると、脳の中の特別な部位が活発に活動して、見ている自分が被害者と同じように共鳴し、筋肉が動いて避けようとする。恋人同士は、お互いに本能的に、身体、行動、話し方まで真似て、お互いに同調しようとする。人間は他人のさまざまな状況でのさまざまな表現を模倣する。笑いやあくびが伝染するように、微笑み、好意、

困惑、どもり、努力なども模倣する。言葉によらない迅速でかつ正確な同調によって共感が生まれ、お互いの感情や経験や要望や目標を共有できる。ミラーニューロンの働きによって、脳は社会生活を円滑にする上で根本的な役割を果たしている。このようなミラーニューロンの機能に異常を抱えている自閉症の人の治療に、模倣に基づいた治療法が大きな効果を挙げている。記憶のあいまいさは、先に述べたクロス配線や神経細胞の脱落、更には活性経路と抑制経路の相互作用に起因している。ミラーニューロンの働きを上手に利用して、脳卒中で麻痺した手をうまくだまして手の動きを回復させるすばらしいミラーボックススリハビリを実施している所もある。

まとめ

眼に見えるものはみな名前を持っている。それを記憶するのは母親がしゃべるのを聞いて物まねをす

◎ドクター紹介

遠山 友紀子先生

Dr. YUKIKO TOYAMA



1月から新しく福祉村病院へ赴任されました、遠山友紀子先生を紹介いたします。

遠山先生は、2病棟2階の主治医と、木曜日の午後
の外来を担当されます。

よろしくお願ひ致します。

生年月日 昭和47年4月20日

血液型 A型

専門 皮膚科専門医



経歴

愛知県岡崎市で生まれ、高校まで岡崎で過ごしました。

愛知医科大学を卒業し、岡崎市民病院で研修して、愛知医科大学皮膚科学教室へ入局しました。その後、いくつかの関連病院赴任を経て、3年前に成田記念病院皮膚科勤務となり、それを機に、豊橋に引っ越してきました。

そして、今年の1月から福祉村病院へ、赴任することになりました。

趣味・特技

子どもの頃からピアノを習っていたので、その影響なのか、今でもクラシック音楽は好きです。時々、音楽鑑賞したり、公演を聴きに行きます。

福祉村病院の印象

最初、キャベツ畑の中にある病院だなと思いました。

たくさんの福祉施設があり、また研究設備が非常に充実していて、アカデミックな雰囲気には驚きました。

病院内では、先生方やスタッフの方々が親切でやさしい印象を受けました。

仕事への抱負

認知症を中心とした高齢者の介護保険病棟を担当することになります。私の専門は皮膚科のため、内科診療の勉強をして、早く一人前に仕事ができるようになりたいです。

また、皮膚科外来では、高齢者特有の皮膚病を中心に、さらに診療経験を積んでいきたいと思ひます。



2病棟2階のスタッフと共に➡



福祉村病院だより

◆ さわらび 一月号に掲載しました

「老年内科・老年精神科」の標榜に
関し、スタッフ一同が改めて思いを
一つにし、また、地域の方々にも知
っていただくよう、その理念を明確
にしました。

(坂柳)

老年内科・老年精神科とは「高齢
者の病気を治すだけではなく、たと
え治らない病気を持っていたとして
も、その方が幸せに生活できるよう
にお手伝いさせていただく診療科で
す」

高齢になると色々な病気になりま
す。その病気が少しでも良くなるよ
うに診療にあたりますが、現代の医
学では治らないとか治りにくい病気
もたくさんあります。病気が治らな
いからそれで終わりではなく、治ら
ない病気を持った高齢者の方でも、
自分らしく元気に生きていくことが
可能です。医療・看護・介護・福祉
といった多方面から知恵を出し工夫
をして、その高齢者の方にふさわし



い、その方が明るく楽しく生活でき
る生活環境を整えることが大切なの
です。とりわけ福祉村病院において
は「認知症」に対し、入院治療だけ
ではなく、家族や関連機関、地域と
も連携しながら「自分らしい生活」
ができるように総合的に対応させて
頂きます。

つまり、老年内科・老年精神科と
は、その高齢者の方が人生で一番輝
いて生活できる時間を作る、そのお
手伝いするのが最たる目的の診療
科といえます。

障害者理解と障害者の可能性を 伝えるために

珠澤 田中副施設長による東愛知日産創立50周年記念総会での講話

二月二日 小坂井文化会館 フロ
イデンホールにて、「東愛知日産
創立50周年記念総会」の場で、障
害者への理解を深めていただくため
に特別講話をさせていただきました。

東愛知日産では一〇年ほど前から

社会貢献活動が実施されており、朝
倉川の530運動、善意フェステイ
バルへの参加をされ、また、社員に
ボランティア活動を奨励されていま
す。当日の午後も参加者全員で公園
清掃を行うと聞きました。そのよう
な社風の中、障害者への理解を社員
により一層深めるという目的から、
今回、講話をさせていただきました。
講話内容は、障害者の生活を中心
にお話をさせていただき、障害を持
つ方々も社員の方々と共に社会の一
員であり、特別な存在ではないこと
を伝え、また、企業からの依頼とい
うこともあり、障害者の就労につい

ても触れさせていただき、障害を持
つ方々でも就労できる可能性を秘め
た人たちであることを伝え、その為
には社員の理解が重要となることを
障害当事者の言葉として、お話しせ
ていただきました。

社員二五〇名ほどの方々全員が真
剣に私の話を聞いてくださり、福祉
への理解の高さを強く感じながら講
話を終えることが出来ました。

(田中)



地域の皆様とともに

地域力の向上を目指して

さわらび地域包括支援センターでは、地域の六五歳以上の方の集まりや、民生委員の定例会に参加させて頂いて、顔の見える関係作りに取り組んでいます。

一月二〇日、玉川校区高井福寿会（老人クラブ）に参加させて頂き、集まられた四十三人の皆様に、地域包括支援センターの役割やお手伝いできることを、寸劇を交えながらご説明させて頂きました。

初めての顔合わせでしたが、加藤会長からも「困ったらここに相談出来るよ」と会員の皆さんに後押しして頂きました。

また二月三日、石巻民生委員定例会に参加させて頂いた際には、事例検討を行っております。

さわらび会の在宅医療福祉部会議では、定期的に事例検討を行っております。民生委員の皆様にお世話になることも多くあります。社会の多様化、一人暮らし高齢者、また高齢夫婦の世帯が増える中、今回のよ

うに一緒に事例を検討することで、地域の課題や方向性を一緒に考え、新しい地域づくりに向けていけるとお思います。

一人暮らしの方も、介護を必要とする方、どなたであつても、その方の状態に応じた、望まれる生活を住み慣れた自宅で送ることができるよう、地域の力をつけていくお手伝いができればと思います。

（さわらび地域包括支援センター 松下）



さわらび会 地域包括支援センターの取り組み

消費者被害の現状と対策

南稜地区民生・児童委員協議会
定例会での講座

全国の消費生活センターには、毎日高齢者を狙った消費者トラブルの相談が数多く寄せられ、その数は年々増加しています。このような消費者被害を食い止めるには、高齢者ご本人が問題意識を高めると共に、地域の諸機関と連携して、地域全体で高齢者を見守ることが必要です。

そこで、一月十三日、地域での身近な相談者である南稜地区の民生委員の皆様が被害の現状を伝え、見守り体制強化の為の協力をお願いしました。

悪質商法の代表的なものには、かたり商法・点検商法・マルチ商法・催眠商法・靈感商法等があります。不況下でも他の世代に比べれば蓄えがあり、昼間自宅

にいる可能性が高い高齢者が特に狙われやすいと言えます。特に重要な事は、「隠れた消費者被害」が起きやすい事です。人が良いため騙されやすい、判断力の低下から騙された事に気付かない、騙された事を恥だと思いつい誰にも相談しない等のケースが多いようです。平成二十一年十二月一日に、特定商取引法と割賦販売法が改正され、消費者を守る為の法律に変わり、悪徳業者の取締りが強化されました。

もし、被害発見がクーリングオフ期間を過ぎていても、諦めずに相談をして下さい。認知症の症状がみられる場合には、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度を活用出来ます。愛知県の主催で、豊橋でも「消費生活相談サポーター養成講座」が開催される予定です。見守りの目を増やし被害を最小限にする為に、積極的な参加をお願いしました。

（福祉村地域包括支援センター 三田）



トライアル雇用開始!

障害福祉サービス事業所 明日香

明日香に通う馬淵裕さん、平野三喜夫さんの2名は、2月よりトピー海運(市内神野ふ頭町)、中部ハース(市内忠興)に於いてトライアル雇用が始まりました。

この不況の中、事業所様の障害者雇用への深い理解や、ハローワークを始め、愛知障害者職業センター様、豊橋障害者就業・生活支援センター様の応援があり結びついたものです。



●馬淵裕さん(トピー海運にて)

馬淵さんはトピー海運にて自動車のホイールのバルブ付けや、配送準備の梱包作業に従事し、そして平



●平野三喜夫さん(中部ハースにて)

野さんは中部ハースにて自動車の電気部品の出荷業務を中心にを行います。

二人にとってこれからが本当の能力を試される時だと思えます。それぞれの事業所で仕事の幅を広げにくくことと同時に、社会で働くルールをしつかり身に付け、そのために、私たちは生活面を念ひサポートをしつかりと実施し、就職につなげていきたいと思えます。

(山本)

障害者関係相談員の情報交換会を開催

2月19日(金) さくらピアにて「相談にかかる機関の情報交換会」をたまも荘障害者生活支援センターの主催で開催させて頂きました(43名参加)。市内には委託相談支援事業所、身体障害者相談員、知的障害者相談員、ピアカウンセラーと多くの機関、相談員が活躍しているのですが、これまで相互の交流が少なくお互いの顔と名前が一致しないというのが現状でした。お互いの活動を知り、人となりを知る事が連携の一番であると考え企画させて頂きました。これを機に相談の輪が広がり各機関がスムーズな連携を計れる地域になるひとつのきっかけになればと思います。

(江川)



家族会親睦昼食会の実施

◆障害福祉サービス事業所 明日香

2月、明日香に通う利用者のご家族の皆様が企画した「明日香家族会親睦昼食会」がたくさんの方の参加を得て実施されました。

いろいろな話題が出る中で、やはり親亡き後の利用者の皆さんの生活についての関心が高く、ケアホームの充実など、今後施設も一緒になって考えて行きたいと思えます。

(山本)



第66回 全国老人福祉施設大会

千葉大会

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

私達さわらび会では「みんなの力でみんなの幸せを」という理念を実現するため、高品質な介護・福祉サービスを提供し続けています。また益々少子高齢化が進む日本において、私達さわらび会だからこそ出来る役割についても常日頃から考えています。

このような状況の下、千葉県で開催された「全国老人福祉施設大会」へさわらび会からも山本孝之理事長以下多くの職員が参加し、また内容が私達さわらび会にとって大変示唆に富んだものでしたので、読者の皆様にも報告をさせて頂きたいと思ひます。

全国に認められるさわらび会

去る一月二六日（二八日）にかけて

「公益社団法人記念 第六六回全国老人施設大会（千葉大会）」が千葉市の幕張メッセ他において、全国から約二二〇〇名の参加者を集めて盛大に行われました。

この全国大会は社会福祉法人さわらび会山本ゆかり専務理事（特別養護老人ホーム第二さわらび荘施設長他）が大会運営委員長に任命され行われました。これだけの規模の大会の総責任者に抜擢され、また大会を成功させたことはさわらび会にとって大変意義のあることです。



●開会宣言をする山本ゆかり専務理事

◎初日 一月二六日

開会宣言に引き続き、公益社団法人全国老人福祉施設協議会（以下全国老施協）中田 清会長より「現在、特別養護老人ホーム（以下特養）の入所待機者は四五万人であり、この解消には更なる特養の整備が必要であり、全国老施協の使命として国へ訴えていく」「低所得高齢者対策として養護・軽費・ケアハウスの復権が必要である」との報告がありました。

さらに全国老施協前会長で、現在は全国老施協常任顧問であり、また参議院議員でもある中村博彦氏より「四〇歳から介護保険料を納めているのに、要介護状態になっても長年特養に入れないと言う事は、保険詐欺と言われかねず、福祉国家日本にする事ではない」「老人施設を取り巻く利用者の声に真摯に耳を傾け、高齢者を守るための制度を作り、また高品質介護サービスを提供していく必要がある」とまさに現在の日本の抱える介護・福祉サービスの問題の提起がされました。



●参議院議員中村博彦氏の報告の様子

私達さわらび会では、この入所待機者解消に資する為、平成二二年十月頃豊橋市宮下町に、また平成二三年度事業として杉山町にそれぞれ地域密着型となる小規模特養並びに認知症対応型共同生活介護事業所、さらに認知症対応型通所介護を開設する予定となっております。施設への入所を待っておりながら豊橋市内でも相当数おられます。私達さわらび会の事業で地域の方々の「みなさんの幸せを」実現できるように頑張っていきたいと考えています。

◎二日目 一月二七日

二日目は六か所の分科会に分かれて、勉強会が行われました。

「職員処遇改善の課題」という分科会の中では、全国老協並びに中村博彦参議院議員の国への懸命な働きかけによって、平成二二年四月での介護報酬は三%増となり、さらに補正予算でも三〇〇億円の「介護基盤緊急整備」、四〇〇億円の「介護職員処遇改善交付金」が交付されることが報告されました。これにより介護職員に関しては、介護報酬増と処遇改善交付金を併せて活用する事で従来の「きつい、汚い、給与が安い」というイメージを払拭する事が出来ると考えられています。

この不景気が続くこの日本において、これだけの補正予算を取得することが出来、また医療報酬が〇・一九%しか上がらない中で、三%の介護報酬の増額を得ることができたのは、国民のニーズである「介護・福祉サービス産業をしっかりと育てなくてはいけない」ことを国がようやく認識したのだと思われれます。

さらに政府の「新成長戦略」では、「今後雇用を四七〇万人創出し、その内二八〇万人が介護医療分野である」との方針が打ち出されています。

介護・福祉サービスが今後の日本経済を担っていく分野であり大変未来に希望の持てる報告でした。

またこれからの日本は急激に高齢社会を迎え、介護技術がさらに高度化していくだろうと言われています。しかし介護人材は少子高齢化の影響で、確保が困難となっていくます。そこで、高度な介護技術を習得した職員が海外へ介護技術の指導に行き、指導をした外国人介護士を受け入れるという「介護技術輸出・介護人材輸入」も今後視野に入れるべきであるとの報告も中村博彦参議院議員よりされました。さわらび会の特養第二さわらび荘では平成二二年一月よりインドネシア人介護福祉士候補生を受け入れています。今後も将来を見据えた活動を行っていく予定です。

◎最終日 一月二八日

最終日には市民公開フォーラムとして「介護サービスロボットの実演」

が行われました。これは今後の日本の経済をけん引する分野は医療・介護・科学技術であるという中村博彦氏の先見性に富んだ発想から行われることとなりました。介護職員の負担を軽減するためのロボット技術の進歩に、会場の参加者も大変感銘を受けていました。

特筆すべきは、私達さわらび会福祉の東隣にある豊橋技術科学大学が研究開発をしている、全方向移動型車椅子のデモンストレーションをされたことです。

この車椅子については大学側から



●豊橋技術科学大学提供の車椅子デモ

も実際の介護医療の現場の意見を求められ、昨年一二月に意見交換会を行い、より良い製品となる為の助言や協力をさせて頂いたものです。

◎最後に

さわらび会ではこれからも多くの事業を展開していきます。多くの方々に私達の仲間になっていただき、地域で生活をされている方の幸せのため「みんなの力でみんなの幸せを」の理想実現の為に頑張っていきたいと考えていますし、また私達も「やりがいのある介護分野で幸せに働くことができる」ように全国老協と協力して頑張っていきます。

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会とは？

通称「全国老協」と呼ばれ、老人福祉及び介護事業の健全な発展と国民の福祉の増進に寄与することを目的として設立された全国規模の団体であり、老人福祉の分野で歴史がありまた権威のある団体です。その公益性が認められ、全国老協は平成21年4月1日に公益社団法人として認定されました。

「これまでの軌跡」

覚悟の瞬間

命をかけて最速を目指して走り続ける、プロレーシングドライバーという生き方。
左近選手にとっての「覚悟の瞬間」とは？

山本左近

シーズンオフのこの季節、レーシングドライバーはサーキットを一步離れ、多彩な活動をしています。

トップレーサーにとっての覚悟とは？左近選手の口で語られる、これまでの軌跡、そして覚悟の瞬間とは何か。インタビューの一部をご紹介します。

運命的な出会い

F1にアコがれ、両親に頼んでカートを始めたとき、大学生の方からの年賀状に「人間は自己実現不可能な夢は思い描かない」という言葉が書いてあったんですよ。その言葉の持つ強さに非常に感動しました。夢が現実になる瞬間だったかもしれないですね。

ヨーロッパでの2年

苦勞と困難

ヨーロッパではトラブルも多く、僕は初めてレースをもうやめよう





かなって考えました。

日本に帰ってきて親に相談したら、納得出来るのであれば、止めてもかまわない。納得できずに止めたら絶対に後悔することになる、と言われてました。その時に両親が僕の背中を押してくれたのが、再挑戦する覚悟を決めた瞬間であります。

人間は実現不可能な夢は
思い描かない

2005年の鈴鹿F1グランプリで、サードドライバーでテストドライブする機会をいただきました。ずっと乗りたいと思っていたF1だったので、乗る前の日はすごく興奮したのを覚えていますね。

今はヨーロッパでレース活動を続けていまして、まだまだ自分自身もレーシングドライバーとして挑戦し続けていきますけど、それと同時にF1ドライバーを目指している若いドライバーたちのお手伝いが出来たらいいと考えていますね。

日本のアカルイ 未来のために

人間は自己実現不可能な夢は思い描かない。この言葉に出会ったからこそ僕はF1ドライバーになれ

たと思っています。自分が思い描いた事は全て実現できる。だから自分で自分の夢を諦めるというような、もったいないことはして欲しくありません。ですから僕はこの言葉を皆さんにお伝えしたいと思います。頑張ってください。

このインタビューの様子は、「覚悟の瞬間」のホームページで動画配信されています。左近選手の熱い思いを、そして覚悟の瞬間を語る様子を是非ご覧下さい。

(石田)

◎「覚悟の瞬間」 左近選手インタビュー動画配信中!!



<http://www.kakugo.tv/index.php?c=search&m=detail&kid=45>

俳句浪漫

直筆の書で 季節を彩る

ジュゲム施設長・東京大学客員研究員
金井 芳之



日の出見ゆ

有明けの月

霞みけり

朝五時半、家を出る時は二月中旬頃まではまだ真っ暗である。東京駅に着く頃には漸く空が白んでくる。始発のひかり号が新横浜に到着直前の景色は高層ビルも無く、折しも二月一日は満月から三日後、雲間に見える月は恰も満月の如く、そして夜明けの間接照明に照らし出されている。正に古典に頻々として現れる有明けの月だ。新横浜を過ぎる頃には太平洋側から大きな太陽が水平線を割って昇ってくる。この時点で主役が交代するのだ。西の天空に見えてきた有明けの月は

恰も、役目を終えた如く何処かに消え去っていた。こんな刹那にはめったに遭遇出来ないなと思った瞬間、小生は感激の垣塙の中に居たのである。なおこの句は季語無しの新俳句といえようが、季節を考えれば有明けの月は季語とは言えなくもないが……

日の出見ゆ

有明けの月

霞みけり



平成22年度 さわらび大学公開講座開講のお知らせ

☆参加費無料でどなたでも受講できます

感染症予防のため、しばらく休講とさせていただきます。さわらび大学を、4月より再開をさせていただきます。休講中は大変ご迷惑をお掛けし、誠に申し訳ございませんでした。

4月のさわらび大学

●4月 8日(休) ●4月22日(休)
講座内容、講師につきましては、現在調整中

平成22年度のさわらび大学の開催

時間◎第2・4木曜日、午後3時～4時
会場◎福祉村病院会議室

尚、都合により日程及び講座が変更となることもございますのでご了承ください。

講義内容へのご意見・ご要望がございましたら、下記までお申し付けください。

◎お問い合わせ・受講申し込み

軽費老人ホーム若葉荘

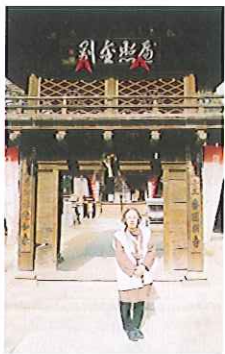
☎ (0532)48-1138 FAX (0532)48-2365

いかり先生の
“お遍路さん”
 四国八十八ヶ所霊場めぐり
 ●アメリカ人のお札博士
 福祉村病院 副院長 伊莉 弘之

第五十二番太山寺から第五十三番須賀山
 円明寺へは二キロ半、徒歩四十五分、車で一〇分。
 円明寺は駐車場を降りるとすぐに山門があり、
 本堂や大師堂はあそこにあるとわかる平地にあ
 る寺だ。

山門に近づくと本堂の方から経を唱える元氣
 な声が聞こえてきた。遠くから白い遍路装束が輝
 いていた。さっきの寺で出会った三人連れの若い
 親子だとすぐにわかった。前の寺と同じように三
 人で地面に正座して経本なしで経を唱えていた。
 その声には周囲のものを引きつけて放さない響
 きがあった。「また会ったね。さっきの人達。あ
 の衣裳カッコいいね。」と小四の娘。「なにかの縁
 かねえ。」と母。

円明寺には四国霊場で最古の銅板の納経札が
 ある。この札は一六五〇年に京都の樋口家次が四
 国巡礼中に本尊厨子に打ちつけたもので「四国仲
 遍路同行二人 平
 人家次」と書かれ
 ている。この最古
 の納経札を最初に
 紀行文で紹介した



のはシカゴ大学のスタイル
 博士だ。かねてから四国霊
 場に関心のあった博士が大
 正十三年の巡拝中に発見し
 て高く評価した。以後スタ
 ール博士は「お札博士」と呼
 ばれた。

本堂の前には仏足石があった。「どこか前にも
 あったよね」と中二の娘。四国を巡拝して何度
 か仏足石を見たが、これは新しいものだ。石がび
 かびか光っている。「お釈迦様の足は大きくて変
 な模様があるのだね。」と小四の娘。「信仰のため
 のものだね。」と中二の娘。「本当に大きかったら
 しいよ。」と母。



帰る時に大師堂の左横に変わった形の石像を
 見つけた。四〇センチほどの高さだが、人形を浮
 き彫りにしたように見える。キリシタン禁制の江
 戸時代に立てられたマリア像で、この寺は隠れキ
 リシタンの礼拝を黙認していたのだという。「す
 べてを受け止め、すべてを受け入れる」という弘
 法大師の広い心を取り入れた結果なのだろうか。
 ふと気がつく、あの元気に経を唱えていた
 七、八歳の男の子と二十代後半の夫婦の三人はも
 う姿がなかった。「どういう方たちなのでしょう
 ね。」と妻。「以前どこかで会ったことがあるよう
 な気がしてね。」と母。「おばあちゃん、さっきの
 寺で会ったよ。」と笑う娘たち。「まだ呆けてない
 よ。」と母。

Vol. 25
 relay column
**さわらび会
 のわ**
 第二さわらび荘 看護師長
 鈴木 あきよ



「デーホへ、テホ
 へ」極寒の中、夜を
 徹して行われる「花まつ
 り」は、奥三河地方に伝わる、国の無形民俗
 文化財である。

五穀豊穰、無病息災を祈り、鎌倉時代の末
 期頃より、世襲によって守られてきた。しか
 し、近年は過疎と高齢化によって、存続の危
 機にたたされている。

私達家族は、毎年祭りを盛り上げる一助に
 なれどと思ひ、参加している。今年是我家の
 孫達も舞手に加わり、八十二才の私の父は曾
 孫の舞に目を細め、太鼓で拍子を取り久々の
 笑顔を見ることが出来た。息子、孫、曾孫の
 四世代が一つなり、特別感慨深い祭りとなつ
 た。この伝統が未永く続くことを願いつつ郷
 里を後にした。

皆様も機会がありましたら、是非「花まつ
 りと清流の里」北設楽郡東栄町を一度訪れて
 みませんか。

次回は、福祉村病院管理栄養士
 山本佳代子さんです。



◆福祉村病院・シユゲーム

- 1月16日 緑区地域包括支援センターおよび緑保健所主催の認知症講演会(緑区役所講堂)にて伊刈弘之副院長が「認知症を知れば認知症は怖くない」認知症についても幸せに暮らすために」について講演(施設長・シユゲーム)に理事長出席
- 18日 施設長(シユゲーム)に理事長出席
- 20日 感謝対策委員会(シユゲーム)に理事長出席
- 22日 日経研主催の公開セミナー「認知症ケアマスター第一回」(東京Jホール)にて伊刈弘之副院長が講演
- 25日 橋詰先生によるOPC(理事長出席)
- 29日 志摩市および志摩市社会福祉協議会主催の認知症介護相談会(志摩市志摩町および大王町)にて伊刈弘之副院長が助言
- 29日 老人福祉施設全国大会に理事長出席(28日)
- 29日 医療安全委員会
- 29日 名古屋市緑保健所主催の認知症予防教室(名古屋市緑保健所)にて伊刈弘之副院長が「認知症の予防」について講演
- 30日 社会福祉法人「さわらび会」新年会に理事長出席
- 31日 早稲田集会(理事長出席)
- 2月1日 フランスベッド株式会社主催のケアマネ研修会(岡崎市勤労福祉会館)にて伊刈弘之副院長が「認知症の介護について」講義
- 2月9日 シユゲーム幹部会
- 2月9日 病院幹部会(理事長出席)

◆さわらび荘

- 1月18日 こころの健康強化事業(勝山 名古屋)愛老協設長会議(施設長 名古屋)
- 19日 東三河ブロック研修(白井秀・浅見・千駄 蒲郡)
- 20日 玉川老人クラブ定例会(松下・白井秀・勝山・金田 玉川地区市民館)
- 21日 市高齢者虐待研修会(施設長・村田 市役所)
- 22日 高齢者虐待対応研修会(勝山 岡崎)県社協社会福祉施設長セミナー(施設長 名古屋)
- 25日 新春公明党豊橋セミナー(土井 豊橋商工会議所)
- 26日 地域包括支援センター管理者会議(松下 つかしが丘)
- 28日 圏域ケア会議(松下 ケアコップ)
- 29日 全老協全国老人福祉施設大会千葉大会(施設長・渡邊 千葉)東三河ブロック研修(白井秀・松井・日下部 勝山 豊川)
- 2月1日 地域包括支援センター事務担当者会議(土井・松下 あいトピア)
- 2月2日 愛老協フレ愛知大会(近藤 名古屋)
- 2月3日 白珠運営推進会議
- 2月4日 日本介護支援協会リーダー養成セミナー(田沼 名古屋)
- 2月4日 石巻地区民生委員定例会(松下・白井秀・勝山・金田 石巻地区市民館)
- 2月4日 県GH協役員会(施設長・村田 名古屋)

◆第二さわらび荘・カサデローザ

- 1月16日 インドネシア人介護福祉士候補者エフアラタ・シラトさん来荘
- 19日 愛老協設長会議(山本施設長 名古屋)
- 21日 愛老協女性委員会(山本施設長 名古屋)
- 22日 市高齢者虐待研修会(山本施設長)
- 22日 認定審査会(長坂 市役所)
- 22日 県介護支援専門員協会理事会(長坂 名古屋)
- 25日 県社協社会福祉施設長セミナー(山本施設長 名古屋)
- 26日 全老協全国大会運営委員会(山本施設長 千葉)
- 27日 県社協給食担当者研修(瓜山 名古屋)
- 27日 社会保障懇談会(山本施設長・東野)
- 29日 愛老協フレ愛知大会(山本施設長・幸介 名古屋)
- 2月3日 介護サービス情報の公表調査
- 4日 愛老協21世紀委員会(山本施設長 刈谷)
- 5日 認定審査会(長坂 市役所)
- 5日 老人ホーム三河部総会、施設長会(山本施設長 安城)
- 8日 県社協中期計画策定委員会(山本施設長 名古屋)
- 9日 市社会福祉審議会(山本施設長 市役所)
- 11日 日本介護支援専門員協会東海ブロック研修(長坂・井上 名古屋)
- 12日 愛老協役員会(山本施設長 長久手)
- 15日 愛老協役員会(山本施設長 武蔵 名古屋)
- 15日 緊急ショートステイ調整会議
- 15日 老人ホーム三河部養護施設長会議(山本施設長 高沢)
- 1月18日 自治会
- 19日 まちづくり出前講座(田中 福岡小学校)
- 20日 愛知県身体障害者療護施設職員研修会(長井 田原)
- 20日 福祉レクリエーション入門講座(金子沙あいトピア)
- 20日 新年祝賀会

◆若菜荘

- 1月19日 愛老協設長会議(施設長 名古屋)
- 21日 全国軽費老人ホーム協議会(施設長 福岡)
- 22日 県社協社会福祉施設長セミナー(施設長 名古屋)
- 26日 誕生会
- 26日 全老協全国老人福祉施設大会千葉大会(施設長 千葉)28日)
- 28日 喫茶会
- 28日 各階別会議
- 3日 節分豆まき
- 3日 愛老協21世紀委員会(施設長 刈谷)
- 4日 若菜会地域活動日
- 5日 若菜会役員会
- 5日 愛老協三河部全体会・施設長会(施設長 安城)
- 10日 懇談会
- 10日 愛老協施設推進委員会(施設長 名古屋)
- 12日 愛老協役員会(施設長 山田 名古屋)
- 12日 愛老協役員会(施設長 長久手)

◆あかね荘

- 2月20日 支援会議
- 22日 来訪日
- 27日 語りへの会
- 27日 次年度検討会議

◆明日香

- 2月1日 絵画教室(鈴木先生)経営会議
- 4日 障害者(児)福祉施設主任職員研修(中津 名古屋)
- 5日 障害者基礎講座(井上幹・坂上・中村・林田・今泉 岩崎学園)
- 5日 木蔭会計監査
- 5日 来訪日
- 5日 語りへの会
- 13日 語りへの会
- 19日 クラブ活動日
- 19日 障害者ホームヘルパー研修(野口 名古屋)
- 20日 工賃倍増会議(山本 豊川)
- 20日 回診日
- 22日 危機管理研修(鈴木 名古屋)
- 22日 ヘルパー会議(林)
- 25日 豊橋保健所給食調査
- 27日 障害者就職面接会(アリンシア)
- 27日 障害者基礎講座(山崎 岩崎学園)
- 27日 社会福祉士実習生受入れ指導者研修(鈴木 静岡)
- 27日 東三河ブロック研修大会(生活家庭館)
- 27日 工賃支給日
- 27日 (休)アンソニー販売
- 11日 主任会議
- 11日 イエローシート交換会(シャスコ豊橋本店)
- 13日 東三河地域栄養士会研修(熊谷 市役所)
- 15日 サービス管理者研修(鈴木 名古屋)

◆しろがね

- 1月19日 ホームヘルパー研修(木下 名古屋)
- 20日 福祉レクリエーション入門講座(村上・石河 あいトピア)
- 21日 さなえ会 おやつ奉仕
- 21日 TFM合唱団来荘
- 25日 TFM合唱団来荘
- 27日 河(あいトピア)
- 27日 さなえ会 おやつ奉仕
- 2月2日 福祉レクリエーション入門講座(石河 豊橋 あいトピア)
- 3日 障害基礎講座(八木沼、鈴木知 岩崎学園)
- 4日 「自閉症の理解と支援」研修(八木沼・村上・石河 名古屋)
- 7日 TFM合唱団来荘
- 8日 福祉レクリエーション入門講座(村上・石河 あいトピア)
- 10日 河(あいトピア)

◆各施設共通

- 1月18日 施設長会議
- 27日 栄養士会議
- 27日 大規模震災における安否確認作業部会
- 30日 法人新年会
- 2月10日 障害者担当会議

さわらび会後援会寄附ご芳名

平成22年1月15日～2月14日

市内向山町字三ノ輪18-3	坂神たず氏	100,000円
市内牧野町90	小松ウメ氏	5,000円
市内入舟町21	㈱三恵薬品	10,000円
新城市南畑 74	光田屋㈱	10,000円
市内野依町字西物草12	家具の街ヨコモランド	10,000円
市内小池町36-1	共和印刷㈱	5,000円
市内高塚町神田68	田京敏明氏	5,000円
市内中岩田三丁目11-3	白井良治氏	1,000円
市内弥生町字西豊和9-9	林 昭氏	10,000円
市内萱町30	㈱中野新松商店	10,000円
市内瓜郷町前川50-1	鈴木弘生氏	10,000円
市内間屋町15-5	㈱スズケン	10,000円
市内東新町314	㈱日医工新和	10,000円
市内東田町154	濱竹田商店	10,000円
市内東脇三丁目1-17	森田由利子氏	10,000円
市内白河町100	中部ガス㈱	10,000円
市内神野埠頭町2	神野臨海㈱	10,000円
市内野依町山中19-14	福祉村病院職員有志	3,000円
	匿名希望氏	40,000円
	匿名希望氏	10,000円
	匿名希望氏	10,000円
	匿名希望氏	10,000円
	匿名希望氏	20,000円
	匿名希望氏	20,000円
	匿名希望氏	10,000円

その他匿名希望多数の方よりご寄附頂きました。
計 **359,000円**
現在までにご寄附いただきました金額は
829,813,694円

●福祉用具紹介のコーナー

つながるくん



ベッド周りの移動をサポートする手すり

ベッドからの立ち上がりや、起き上がり
を支援する手すり「たちあっぷ」と連結
することで、歩行を助ける手すりとして
もご利用頂けます。
角度も自由に調整
でき、長さも3種類か
らお選び頂けます。



介護保険を申請されている方なら
どなたでもレンタル可能です。
価格はお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

福祉村指定居宅介護支援事業所 ☎(0532) 46-3566
さわらび指定居宅介護支援事業所 ☎(0532) 54-7377
福祉村病院訪問看護部 ☎(0532) 46-7511(代)
福祉サービス株式会社 ☎(0532) 66-1011

(福祉村指定居宅介護支援事業所 鳥山)

インド福祉村協会寄附ご芳名

平成22年1月11日～2月10日

豊明市新栄町2-341	加藤伸也氏	5,000円
名古屋市中区千代田1丁目8-21	桜井長博氏	5,000円
名古屋市瑞穂区瑞穂通8-16	小林建生氏	5,000円
豊明市西川町笹原22-6	奥田良一氏	25,000円
市内野依町字山中19-12	インド福祉村病院募金箱	3,254円
名古屋市中村区森末町3-49-1	村上又一氏	1,492円
名古屋市中区新栄1-7-12	東海労働金庫	7,600円
大阪府岸和田市宮本町28-22	薬師院 阿字観教室	5,000円
大阪府岸和田市小松里町947-7	小野剛賢氏	3,000円
名古屋市昭和区山花町50	医療法人 生寿会 理事長 酒井宏氏	50,000円
名古屋市名東区高間町52	荻輪顕量氏	5,000円
岐阜県郡上市美並町白山1841-1	古田雅久氏	5,000円
尾張旭市南原山町赤土227	池垣純子氏	5,000円
名古屋市千種区今池5-21-15	加藤 隆氏	5,000円
名古屋市中区大須4-5-30	辻 久雄氏	5,000円
市内植田町閑取54	塩之谷昌氏	5,000円
三重県津市一身田豊野1406-211	今本吾朗氏	1,000円
京都府京都市北区紫野門前町563-603	岡田和彦氏	1,000円
愛知県長久手町塚田1801	黒川美治氏	1,000円
名古屋市名東区山の手3-1007	濱野先一氏	1,000円
長野県松本市神田1-10-8	谷口輝道氏	1,000円
瀬戸市緑町2-69	森月義雄氏	1,000円
稲沢市西町1-18-6	小沢康博氏	1,000円
名古屋市東区砂田橋2-1 C-612	鈴木勇夫氏	1,000円
岐阜県岐阜市正木1318-1	加藤猛詩氏	1,000円
愛知県東郷町御岳2-11-2	池田哲雄氏	1,000円
石川県白山市木滑ト23	田村幸治氏	2,000円
滋賀県高島市マキノ町小荒路565	高木元 氏	10,000円
尾張旭市緑町緑ヶ丘122-40	土井 進氏	5,000円
名古屋市中区栄一丁目7-13	岡田 保氏	10,000円
岐阜県瑞浪市土岐町300-7	鈴木利江氏	5,000円
名古屋市北区如意1-147	小野純世氏	5,000円

募金方法(インド福祉村)

計 **187,346円**

- 振込先 郵便局 ゆうちょ銀行・振替口座
口座番号00830-2-65008 加入者名 インド福祉村協会
- 連絡先 軽費老人ホーム若葉荘 ☎0532-48-1138まで

ご寄付は、さわらび会の病院・施設なら、どこでも受け付けております。
皆様の御協力をお願い致します。

みんなの力でみんなの幸せ

社会福祉法人さわらび会後援会からのお願い

さわらび会後援会では、広く社会の善意のある方々に後援会員になっ
ていただき、そのあたたかい浄財をもって福祉村の建設並びに運営して
いくよう支援しております。
皆様方の、ご入会を心からお願い申し上げます。

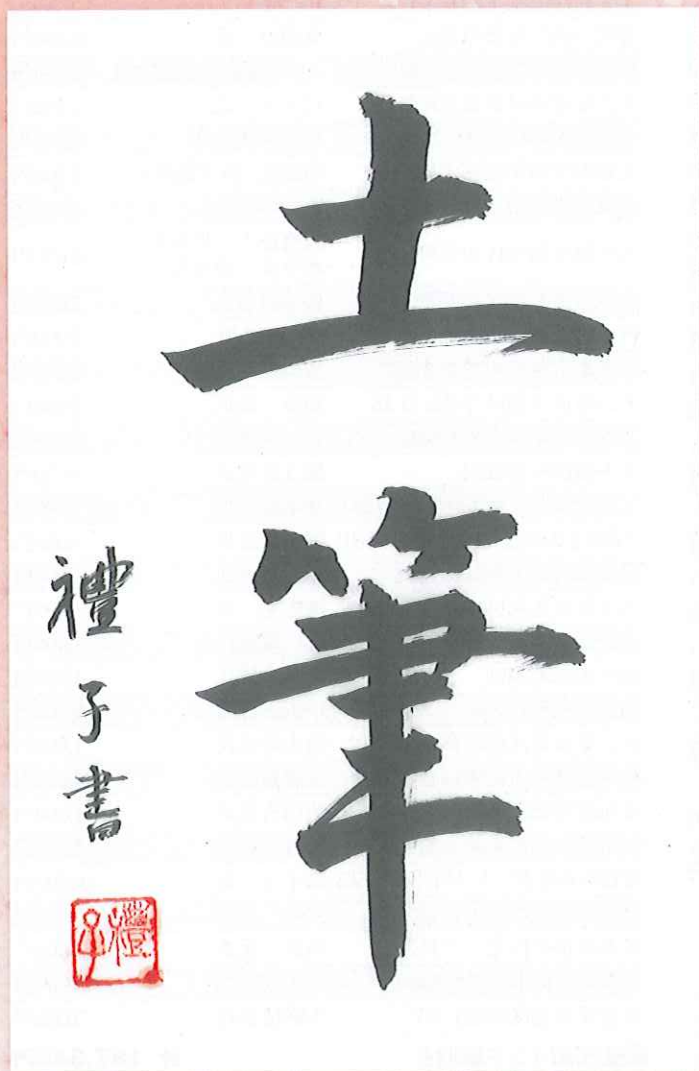
- お問い合わせは 後援会会長 神野 信郎
珠藻荘 ☎(0532)47-1050まで

＊お礼コーナー ありがとうございます＊

※印は豊橋善意銀行を通して

- ▼荻野陽三様 ねぎ・みかん寄贈(珠藻荘) ▼沖はるみ様 織物用糸(しろがね)
- ▼イチビキ株巻第3工場様 イチビキうす塩しょうゆ寄贈(珠藻荘)※

春み〜つけた



「土筆」 鈴木禮子 (第二さわらび荘)

「みつけた 散歩道」 小國せつ子 (若菜荘)

さわらび

2010年3月1日発行 早蕨 第443号 毎月1日発行
 (昭和62年2月21日第三種郵便物認可)
 編集責任者・江川和郎 印刷・共和印刷(株) 定価・100円

充実した医療と福祉
みんなの力でみんなの幸せを

社会福祉法人 さわらび会 理事長 山本 孝之

- 特別養護老人ホーム さわらび荘 富(0532)54-3501
法人本部 豊橋市浪ノ上町7-2
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘
- ケアハウス カサ デ ローザ 富(0532)37-1209
- 軽費老人ホーム 若菜荘 富(0532)48-1138
- 障害者支援施設 珠藻荘 富(0532)47-1050
- 障害者支援施設 あかね荘 富(0532)48-2825
- 福祉村病院 富(0532)46-7511
- グループホーム白珠 富(0532)66-0082
- 障害福祉サービス事業所 明日香 富(0532)46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しろがね 富(0532)48-1032
- 福祉コンビニ(東雲町) 富(0532)69-5666
- 第二福祉コンビニ弥生 富(0532)38-9090
- さわらび会障害者居宅介護事業所 田原 富(0531)24-0722
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム 富(0532)46-7501
- 田原市障害者生活支援センター(市委託) 富(0531)45-3828

〔表紙写真・平木場郁央(明日香利用者)〕

編集後記

表紙の雛祭りの絵画、裏表紙の土筆の書と絵画、季節感がありすばらしい作品だと思います。さわらび会には知的や身体にハンディがありながらも豊かな感性を持ち創作活動に励む利用者が多くいます。そしてそんな利用者の皆様の創作活動には積極的な支援を行わせて頂いております。毎年秋には文化祭の秋陽展で作品の発表の機会をもたせて頂いておりますが、このさわらび誌でもすばらしい作品を表紙で飾り皆様のお手元に届けてゆきたいと思えます。これからも私達の活動だけでなく、このような作品も是非お楽しみ下さい。(江川)